

生まれ変わった学びやで



半世紀の歴史ある梅松塾から生まれ変わり、本年4月から新たにスタートした「大本愛善学苑」。大本教義やエスプレントといった座学をはじめ農作業や日本伝統文化など、さまざまな体験ができる生活は学苑生にとって新鮮そのもの。緊張感と笑顔あふれる姿を紹介したい。(写真は学苑生と苑舎)





— 大本の歴史 —



— 茶道 —



— 祭式 —



— 謡曲仕舞 —



— 書道 —



— 和裁 —

—クリーン活動—



—鉢伏山祭典係—



学びと研さんと 体験の日々



—梅松苑清掃—



—田植え—



—稲刈り—



感謝祭祭典前のひとコマ



毎月行われる大本愛善学苑感謝祭には、苑生全員でお仕えする

「本物の体験」を通じて

大本愛善学苑長 鈴木林太郎



大本愛善学苑は半世紀の歴史ある梅松塾から、令和二年に生まれ変わった大本・人類愛善会の教育機関です。教主さまを名誉学苑長に仰ぎ、そのご教示のもと学苑の運営、苑生の指導を行っています。

学苑生は神気の満ちた聖地・天恩郷で、み教えの研さんと実践を通じて、新しい自分を発見し、ご神業に奉仕する喜びを分かち合っています。

特に農作業をはじめとした愛善活動や、茶道・謡曲仕舞などの日本伝統文化、また英語・エスペラントの語学習得に力を入れ、日本人の使命を覚り、国際感覚を持った宣伝使になることを目標としています。

新しいことにチャレンジしたい人、自分を変えたい人、今の生活に満足していない人は、ぜひ学苑の門をたたいていただきたいです。青年部活動を経験したことがない、お祭りの作法を知らない、大本の本を読んだことがなくても全く問題ありません。一から学苑で学ぶことができます。

大本愛善学苑では「本物の体験」を通じて、信仰の喜びとご奉仕意欲を育み、世のため人のために貢献するのが大好きな「愛善青年」を目指しています。